

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (連結)

平成19年1月25日

上場会社名 NBC株式会社

(コード番号: 3534 東証第二部)

(URL <http://www.nbc-jp.com>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長・石塚 昭夫 TEL: 042(582)2411
 責任者役職・氏名 取締役管理部長・阿部 仁

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 法人税等の計上基準等
 ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	9,871	(4.2)	1,465	(5.5)	1,449	(2.3)	872	(1.7)
18年3月期第3四半期	9,475	(4.7)	1,389	(△8.1)	1,416	(△6.8)	858	(△6.3)
(参考)18年3月期	12,748		1,956		1,966		1,282	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	97	24	—	—
18年3月期第3四半期	94	67	—	—
(参考)18年3月期	140	32	—	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における世界経済を概観しますと、米国経済は住宅投資に減速傾向が見られたものの、個人消費や設備投資が堅調に推移し、景気は緩やかに拡大しております。欧州経済も輸出や生産が増加し、回復しております。また、アジア経済は中国で景気は引き続き拡大が続いており、その他地域でも景気回復の動きが広まっております。一方、我が国経済も、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や個人消費の堅調さ、又雇用情勢の改善などにより、景気は回復基調で推移いたしております。

このような経済環境の中、当社製品の得意先関連業界の状況であります。プリント基板業界は、自動車関連など一部好調な分野もありましたが、片面基板については生産の海外移転、材料費の高騰及び価格の低迷が続き、依然厳しい状況であります。又自動車部品業界では、国内自動車生産が増加していることや海外完成車メーカーへの拡販が着実に進んでいることなどから好調に推移しております。

得意先関連業界のこのような事業環境の下で、当社グループは、海外市場への積極的な展開、国内市場の販売力強化、研究開発体制の充実、生産・購買部門における徹底したコストダウンを進めてまいりました結果、産業用資材及び化成品セグメントは順調に推移し、連結売上高は、98億7千1百万円(前期比4.2%増)となりました。営業利益については、化成品、防虫網の価格下落の影響はありましたが、経費節減や生産革新活動に引き続き注力した結果、14億6千5百万円(前期比5.5%増)と増益になりました。営業外収益及び費用は、インドネシアルピアの変動で、前年の為替差益から当期差損計上となったこと等により、全体では4千3百万円の減益になりました。以上により、経常利益は14億4千9百万円(前期比2.3%増)、当期純利益は8億7千2百万円(前期比1.7%増)にとどまりました。

(スクリーン印刷用資材)

当社グループの主力製品であるスクリーン印刷用メッシュクロスは、国内において、一般印刷、電子部品向は堅調でありましたが、片面基板生産の減少の影響を受け微減となりました。海外においては、競争の激化や債権保全を優先した販売政策をとっていることもあり、北米、アジア向けは横ばい、欧州は減少いたしました。利益的には、電子部品向などの高付加価値品の増加などにより増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、41億9千1百万円(前期比1.0%減)、営業利益は8億3千7百万円(前期比2.4%増)となりました。

(産業用資材)

産業資材用途としては、携帯電話用や当社の加工技術を応用した新規開発製品である、PDP・液晶テレビのスピーカーグリル用途は順調に売上を伸ばしましたが、濾過布・印刷OA・生活関連用途などは減少いたしました。又防虫網は、機能性無機ナノ粒子固定化技術を駆使した新製品アミドロジーシリーズの市場投入やシェアアップにより増加いたしました。採算面でも、低付加価値品の見直し、新規開発品の寄与により増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は28億1千9百万円(前期比6.3%増)、営業利益は3億2千5百万円(前期比9.7%増)となりました。

(化成品)

自動車用フィルターは、価格下落の影響を受けているもののABS用(アンチロックブレーキシステム)、インジェクター、カーターラー用フィルターを中心として引き続き順調に推移しております。家電用フィルターも、洗濯機用が大きく売上を増加させました。営業利益については、自動化の推進、生産性の向上に努めた結果改善することが出来ました。

以上の結果、当セグメントの売上高は26億1千5百万円(前期比8.7%増)、営業利益は2億7千9百万円(前期比3.1%増)となりました。

(その他)

養殖用生簀(いけす)金網の販売回復により、売上高は2億4千4百万円(前期比33.7%増)、営業利益は2千3百万円(前期比450.5%増)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	20,921	17,804	85.0	1,984 06
18年3月期第3四半期	19,755	16,678	84.4	1,858 60
(参考)18年3月期	20,793	17,224	82.8	1,918 30

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	506	△655	△359	6,100
18年3月期第3四半期	354	△1,392	△567	5,881
(参考)18年3月期	1,169	△1,508	△568	6,603

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は209億2千1百万円、純資産は178億4百万円、自己資本比率は85.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により5億6百万円増加いたしました。投資活動においては有形固定資産の取得等により6億5千5百万円の資金を、又財務活動においては配当金の支払で3億5千9百万円をそれぞれ使用いたしました結果、当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は61億円となり、前連結会計年度末と比較し5億3百万円減少いたしました。

(3) 平成19年3月期 第3四半期の配当状況(個別)

・現金配当

	1株当たり配当金(円)
基準日	第3四半期末
19年3月期第3四半期	—
18年3月期第3四半期	—

○ 添付資料

- (要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書
- (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

以上

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

[業績予想に関する定性的情報等]

為替レートの変動が当社業績に影響を与える可能性はありますが、現在のところ業績予想の変更はありません。

(注) 上記の予想は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値等を確認したり、保証するものではありません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	6,100	5,881	219	3.7	6,603
2. 受取手形及び売掛金	3,842	3,778	63	1.7	3,823
3. 有価証券	-	100	△100	-	100
4. たな卸資産	3,321	3,041	279	9.2	3,108
5. その他の流動資産	591	404	187	46.3	510
流動資産合計	13,855	13,206	648	4.9	14,146
II 固定資産					
1. 有形固定資産	6,439	5,936	503	8.5	6,058
2. 無形固定資産	44	45	△0	△0.8	44
3. 投資その他の資産	582	567	14	2.5	543
固定資産合計	7,066	6,549	516	7.9	6,646
資産合計	20,921	19,755	1,165	5.9	20,793
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	791	781	10	1.3	906
2. 未払金	329	319	9	2.9	355
3. 未払費用	188	182	6	3.4	313
4. 未払法人税等	200	212	△11	△5.3	456
5. その他の流動負債	80	91	△10	△11.6	32
流動負債合計	1,591	1,587	3	0.2	2,064
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	1,361	1,328	33	2.5	1,335
2. 役員退職慰労引当金	35	32	3	9.1	31
3. その他の固定負債	128	110	18	16.3	117
固定負債合計	1,526	1,471	54	3.7	1,485
負債合計	3,117	3,059	57	1.9	3,549
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	17	△17	-	19
(資本の部)					
資本合計	-	16,678	△16,678	-	17,224
負債、少数株主持分 及び資本合計	-	19,755	△19,755	-	20,793
(純資産の部)					
I 株主資本					
株主資本合計	17,845	-	17,845	-	-
II 評価・換算差額等					
評価・換算差額等合計	△63	-	△63	-	-
III 新株予約権					
IV 少数株主持分	22	-	22	-	-
純資産合計	17,804	-	17,804	-	-
負債、純資産合計	20,921	-	20,921	-	-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	9,871	9,475	395	4.2	12,748
II 売上原価	6,343	5,992	351	5.9	8,044
売上総利益	3,527	3,483	44	1.3	4,704
III 販売費及び一般管理費	2,062	2,093	△31	△1.5	2,747
営業利益	1,465	1,389	76	5.5	1,956
IV 営業外収益	34	58	△24	△41.2	35
V 営業外費用	50	31	19	60.5	26
経常利益	1,449	1,416	32	2.3	1,966
VI 特別利益	24	1	22	-	165
VII 特別損失	15	13	1	11.9	23
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,459	1,405	53	3.8	2,108
税金費用	585	544	40	7.4	824
少数株主利益	1	2	0	△39.2	1
四半期(当期)純利益	872	858	14	1.7	1,282

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	506	354	1,169
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△655	△1,392	△1,508
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△359	△567	△568
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4	16	41
V 現金及び現金同等物の増加額	△503	△1,589	△866
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,603	7,470	7,470
VII 現金及び現金同等物の期末残高	6,100	5,881	6,603

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

(単位：百万円)

	スクリーン 印刷用資材	産業用資材	化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	4,191	2,819	2,615	244	9,871	—	9,871
営業費用	3,353	2,494	2,336	221	8,405	—	8,405
営業利益	837	325	279	23	1,465	—	1,465

前年同四半期

(単位：百万円)

	スクリーン 印刷用資材	産業用資材	化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	4,233	2,651	2,407	183	9,475	—	9,475
営業費用	3,416	2,355	2,136	178	8,086	—	8,086
営業利益	817	296	271	4	1,389	—	1,389